

チカツキョウ 地活協ってなあーに?



歴史を知れば、
地域活動の見方が
変わるかも?

地活協は、地域活動協議会の略称。暮らしやすい豊かな地域にするために、住民、地域のいろんな団体や企業、学校やお店が一緒になって取り組む“しくみ”です。地域のイベント、子どもの見守り、防災訓練などなど、幅広く活動しています。

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナースHIPで目標を達成しよう



地活協がうまれるまで

故きをたずねて新しきを知ることも大事!
地域活動の歴史を振り返ってみましょう。



昭和15年 国により町内会が組織

第2次世界大戦で国民が戦争に動員される中、広報紙の回覧や日用品の配給をする組織として、町内会が全国各地で誕生。



戦時中の十三駅

昭和20年 終戦

昭和22年 「日本赤十字社奉仕団」結成

前年に起こった南海地震をうけて、災害救助を行う「日本赤十字社奉仕団」が全国各地で結成。

昭和24年 「大阪市赤十字奉仕団」結成

災害救助のほか、広報紙の回覧など行政への協力活動や、福祉活動を行う大阪市独自の市民組織として機能を拡大。



昭和26年 「社会福祉事業法」(現在の社会福祉法) 制定

地域福祉を推進するため、全国各地で社会福祉協議会がつけられる。

略して“社協”
と呼ばれてるよ



社協による車いすの
介助講習の様子

昭和40年代 大阪市でコミュニティ施策が検討されはじめる

大阪市の都市化が進み、地域の人々のつながりが薄くなりつつある中、地域での新たなコミュニティづくりが求められるようになる。



「ふれあい喫茶」の様子

昭和50年 「大阪市地域振興会」結成

新たなコミュニティづくりを行う自治組織として、大阪市赤十字奉仕団とメンバーを同じくする「大阪市地域振興会」が結成。

平成になると、大阪市は住民参加型のまちづくりを進めるためにさまざまな政策を実施しかし・・・

地域活動の課題

活動団体同士での情報共有不足
地域の実情に合わない事業運営
担い手不足

平成24年 「地域活動協議会」誕生

地域課題の解決や地域活動の活性化に向けて、これまで地域活動を担ってきた町会やさまざまな団体が協力して活動する、新しい地域活動のしくみができる。

地域活動は、昔から私たちの生活とともにあったのですね。私たちが生きてきた歴史そのものが、地域活動の歴史といえるかもしれませんね。





コロナ禍でも! ええやん地活協!

最近は新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか人が集まれなくなりましたよね……。でも大丈夫! オンラインを活用したり、しっかり感染対策を行ったりして、地域活動は少しずつ再開されています。



◆新高地域運動会(11月14日)



子どもから大人まで一丸となって、いろいろな競技に挑みました。玉入れも白熱していますね!

◆三津屋音楽祭(11月14日)



快晴のもと、ロックやジャズ、ブルースなど、さまざまなジャンルの音楽が生演奏で楽しめました!



当日の様子を
チェック!

◆新東三国フェスティバル(11月28日)



スーパーボールすくいや型抜きなどのゲームコーナーが並びました。子どもたちも楽しそう!

地活協をもっと知りたいあなたへ!



「地域活動…ちょっと気になるけど、何から始めたらいいのかなあ?」というあなた。お祭りをのぞきに行ったり、子育てサロンやふれあい喫茶に立ち寄ってみることも立派な地域活動で

す。ご近所の顔を知っていたら、困ったときやいざというときにも助け合えます。まずは“知ってみる”ことから。新年はあなたなりの地域活動、始めてみませんか?

各地活協の
活動の様子や
連絡先を
紹介しています



淀川区まちづくり
センターHPでは
地域のイベント情報も
発信中



こちらから地活協の
活動や連絡先が
チェックできるよ!
見てみてね!



多加志の ところざし

謹賀新年

淀川区長
おかもと たかし
岡本 多加志



明けましておめでとうございます。区民の皆さまにおかれましては、新しい年をお迎えになられたことをお喜び申し上げます。

さて、今年最初のコラムのテーマは、地域活動へのご参加のお願いです。

これまでは主に行政が担ってきた「公共」と呼ばれる概念が、時代とともに大きく拡大しています。大阪市では、この大きな「公共」の分野について、これまでのように行政が中心となって担うのではなく、地域の課題や資源などを最もよく知っている地域の皆さまが中心となって担い、行政は地域と協働し、また地域活動を側面的に、経済的に支援していくことによって、活力ある地域社会づくりを進めているところです。

地域では、「夏祭り」をはじめとする行事の開催や、高齢者への「食事サービス」の提供、まちの「環境美化活動」、高齢

者や子どもたちへの「見守り活動」、夜警などの「防犯活動」、「防災訓練」などが行われています。

しかしながら、これまで地域活動を支えてきた地域の団体にも、課題が出てきています。いわゆる担い手不足といった、一部の役員への負担の集中や、役員の高齢化などです。

区民の皆さま、さらに企業の皆さまは、まさに地域の構成員です。今年は、ぜひ地域活動に少しでもご興味を持っていただき、まずは各地域で行われている行事や活動に1つでも、欲を言えば2つでも3つでもご参加いただければと考えています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

